

備が早期に進むことが期待できます。「すべての道は熊本に通じる」というのが私のマニフェストの目標でしたが、九州の横軸となる道路整備が進むことは、「百年の礎」にもつながってくると思います。九州の広域防災拠点として、熊本には大きな責任がありますので、議会にもご理解・ご協力いただいて、県単独で23億円の予算を使うことにしています。国の予算規模に引きなおすと2300億円の規模です。それを九州全体のためにという高い志をもって広域防災拠点の構想を進めます。

もう一つは認知症対策です。だれも自分が認知症になつたらどうしようかという心配があります。そのため基幹型と地域拠点型等による二層構造の認知症疾患医療センターを県内11カ所に設置しました。「熊本モデル」と呼ばれる認知症の医

療体制が確立しています。ソフト対策としては認知症サポーターの養成に力を入れています。人口あたりの認知症サポーター養成率は6年連続で全国1位です。また、アジア認知症学会が熊本で秋に開かれます。これにより、本県の先駆的な取組みが、国内外に広がることが期待されます。

「百年の礎を築く」の1つ目は地下水です。地下水は熊本の宝であり、生命の水です。これを守らなければいけない。今

年4月に「熊本県地下水と土を育む農業推進条例」が施行されました。これは、農業を通じて、地下水と土を50年先、100年先の未来に引き継いでいこうという条例です。世界初の条例だと思いますが、農家の方々の協力を得るとともに、県民の皆さんにもご理解をいただきたいと思っています。2つ目が世界文化遺産です。

松岡 防災拠点の決定は、将来の道州制の場合の州都につながる可能性がありますね。

蒲島 そうですね。「百年の礎」につながる大きな政策決定だと思います。



JR熊本駅の東口駅前広場。正面の駅舎が撤去され、新たな整備が予定されている



Profile

熊本商工会議所会頭

田川 憲生

たがわ・けんせい

熊本市出身。1947(昭和22)年4月2日生まれ。68歳。済々黌高校・熊本大学法文学部卒。71年熊本日日新聞社に入社し、人事局長、編集局長、常務取締役、専務取締役などを歴任。2011年ホテル日航熊本社長に就き、14年から同会長。11年11月から熊本商工会議所会頭を務める

再開発を機に回遊性の向上を

大西市長

松岡 大西市長には中心市街地の再開発などインフラ整備も含めて、お話しいただきたいと思います。

大西 桜町・花畑周辺地区の再開発事業は中心部に位置し、戦後最大の再開発となりますので、それに携われることは大きな喜びですし、同時にプレッシャーを感じているところです。今回の再開発は熊本が全国的にブランド力をアップするためにも象徴的な事業になると思っていましたし、中心部のにぎわい拠点をつくっていく大事な事業です。熊本市が整備する(仮称)熊本城ホールをはじめ、ホテル、商業施設、住居などが集積することになりますが、熊本市として考えなければならないのは、施設の整備だけではなく、そこにどういうイベントや来場者を呼

び込んでいくのかということです。その効果が地域全体に波及することを考えなければいけません。

イベントや会議を誘致することになりますので、3人の方にMICEアンバサダー(大使)を委嘱し、魅力発信や誘致活動をしていただいている。現実的に3年半後にホールが完成したときに、イベントを行うためには、今年か来年には中身を詰めないと間に合いませんので、今懸命に取り組んでいます。スケジュールとしては、これから既存の施設の解体に入って、来年夏に着工の予定です。少しずつ形が見えてくると思いますが、工事期間中も仕掛けづくりに取り組まなければいけません。

現在、旧産文会館の跡に人工芝などを敷いて(仮称)花畑広場として整備し、

暫定的に活用しています。オープンスペースとして多目的に使ってもらえるように貸し出しているのですが、引き合いが多くあります。7月は梅雨で利用は少なかったのですが、8月以降は予約で埋まっている状況です。

松岡 どのようなイベントが多いのですか。

大西 物産展や飲食を伴うイベントなどが多いようです。今年3月の「上天草とれたて市場」は暫定整備の前でしたが、相当な人出だったようです。そのように暫定利用期間にいろんな使い方をしていただいて、桜町の再開発が完成をみた3年半後には、シンボルプロムナードのエリアが歩行者空間になりますので、もっと大きなイベントが出来ます。その広場から新市街、下